



SPECIAL 特集 FEATURE

保健事業の 保険サービス化と 公的責任

特定健診・特定保健指導の導入など保健事業の保険サービス化が進んできたが、保険者責任と被保険者の個人責任が強調され、地域に対する保健事業として担うべき公的責任が曖昧になってきているとの危惧もある。本来の公衆衛生行政の役割とそれを担う保健師の役割を再考することで、分散配置などで混迷する保健師の一助としたい。